

かざま うら

議会だより

修了 おめでとう
ございます!



春から小学生

風間浦保育所修了式（3月23日）

No. 116

令和6年4月発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2111
FAX 0175-35-2403

目次

- 定例会のあらまし・・・ P 2
- 全協・各種委員会報告・・・ P 6
 - 役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会
 - 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 予算審査特別委員会
 - 総務常任委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 一般質問・・・ P12
- 議員活動・・・ P15
- ちょっと一言・編集後記・・・ P16



富岡 宏 村長

3月 定例会 めらまし



能登 勝彦 議長

会期：令和6年3月5日から11日までの7日間

案件：人事11件、新年度当初予算7件、専決処分1件、条例7件、補正予算3件

結果：全議案を全会一致で同意、承認及び可決。

3月定例会

人 事 全会一致同意

★風間浦村教育委員会委員の任命

(任期 令和6年4月1日～令和10年3月31日)
横濱田香氏(新任)

★下風呂財産区管理会委員の選任

(任期 令和6年4月1日～令和10年3月31日)
扇谷靖氏(再任)、木村喜志雄氏(再任)、八谷宏氏(再任)、小山攻二氏(再任)、松井一義氏(再任)、金橋謹一氏(再任)、鈴木健司氏(新任)

★風間浦村固定資産評価審査委員会委員の選任

(任期 令和6年4月1日～令和9年3月31日)
八谷宏氏(再任)、高橋美保子氏(再任)、新田孝代氏(新任)

専決処分 全会一致承認

★令和5年度風間浦村一般会計補正予算

歳入 財政調整基金繰入金 700万円
歳出 除雪委託料 700万円

条 例 全会一致可決

★風間浦村簡易水道事業の設置等に関する条例

令和6年度から公営企業会計に移行する簡易水道事業に地方公営企業法を適用させることから、簡易水道の設置などの規定を定めたもの。

★風間浦村簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例

簡易水道事業の公営企業会計移行に伴う、剰余金の処分の規定を定めたもの。

★風間浦村手数料徴収条例の一部を改正する条例

本籍地外での戸籍謄本の交付及び戸籍電子証明書識別符号等の発行が可能となることから、所要の改正を行うもの。

★風間浦村乳幼児及び児童生徒医療費給付条例の一部を改正する条例

子どもの定義を出生の日から18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にあるものとし、字句の整理などを行うため提案。本条例の改正により、役場担当窓口への来庁が不要となる等、保護者の利便性が図られるもの。

★風間浦村漁港管理条例の一部を改正する条例

漁港漁場整備法の改正に伴い、関係条文を整理するもの。

★風間浦村営住宅管理条例の一部を改正する条例

公営住宅法施行令の一部改正に伴い、村営住宅の家賃を改正するもの。

★風間浦村介護保険条例の一部を改正する条例

令和6年度から令和8年度までの風間浦村第9期介護保険事業計画期間における、介護保険料を定めるもの。

補正予算 全会一致可決

★令和5年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6千459万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29億5千979万6千円とする。

歳入の主なもの

- ・ 普通交付税 1千558万9千円の追加
- ・ 河川災害復旧事業負担金 363万5千円の計上
- ・ 庁舎建設基金繰入金 3千680万円の減額
- ・ 塵芥処理施設整備事業債 3千790万円の減額

歳出の主なもの

- ・ 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 307万9千円の計上
- ・ 定額減税対応システム改修業務委託料 990万円の計上
- ・ 住民情報読み仮名法制化対応業務委託料 231万円の計上
- ・ 役場庁舎等建設実施設計業務委託料 4千880万円の減額
- ・ 総合福祉センター重油代 110万円の追加
- ・ 下北地域広域行政事務組合負担金（児童福祉費）190万4千円の追加
- ・ 風間浦保育所指定管理委託料

285万円の追加

- ・ 下北地域広域行政事務組合負担金（ごみ処理施設整備事業） 3千72万7千円の減額
- ・ 財政調整基金積立金 3千290万円の追加

減債基金積立金 538万6千円の追加

★令和5年度介護保険特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ577万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億6千356万1千円とする。

歳入の内容

- ・ 現年度分調整交付金 270万6千円の減額
- ・ 現年度分地域支援事業交付金 57万5千円の減額

歳出の主なもの

- ・ 居宅介護サービス給付費 200万円の追加
- ・ 施設介護サービス給付費 500万円の減額
- ・ 居宅介護サービス計画給付費 140万円の追加
- ・ 地域密着型介護サービス給付費 200万円の追加

★令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ36万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3322万9千円とする。

歳入の内容

- ・ 現年度分特別徴収保険料 28万8千円の追加
- ・ 普通徴収保険料滞納繰越分 7万6千円の追加

歳出の主なもの

- ・ 後期高齢者医療保険料負担金 36万4千円の追加



定例会

3月定例会

令和6年度

一般会計予算

及び各特別会計予算は

全会一致可決

令和6年度一般会計・特別会計等の各当初予算が第1回村議会定例会で可決されました。一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ33億7,768万1千円となり、令和5年度当初予算と比較して、6億6,171万4千円、24.4%の増額となりました。

【各会計予算編成状況】

○一般会計予算

33億7,768万1千円

(前年度) 27億1,596万7千円

(増減) 6億6,171万4千円



○国民健康保険特別会計予算

3億823万9千円

(前年度) 2億7,855万5千円

(増減) 2,968万4千円



○介護保険特別会計予算

3億2,865万7千円

(前年度) 3億3,725万6千円

(増減) △859万9千円



○後期高齢者医療特別会計予算

3,336万8千円

(前年度) 3,148千1千円

(増減) 188万7千円



○下風呂財産区一般会計予算

60万9千円

(前年度) 52万4千円

(増減) 8万5千円

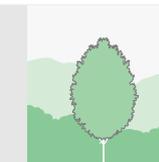


○易国間財産区一般会計予算

40千円

(前年度) 40万2千円

(増減) △2千円



○簡易水道事業会計予算

■ 収益的收入及び支出

(収入) 1億219万2千円

(支出) 1億409万2千円

■ 資本的収入及び支出

(収入) 4,000万0千円

(支出) 6,298万3千円

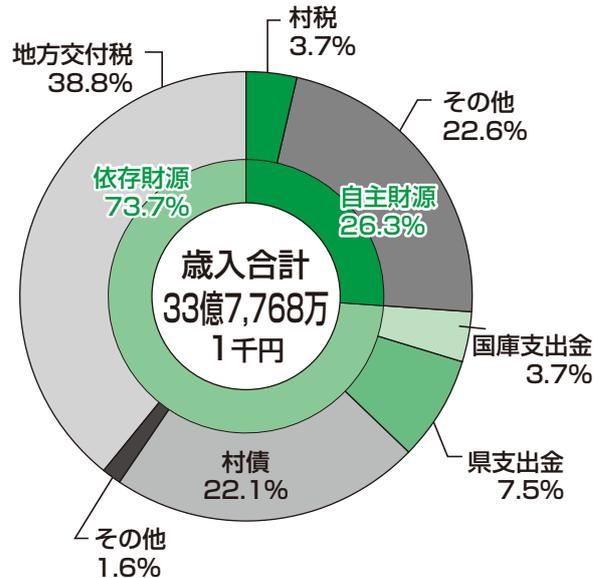
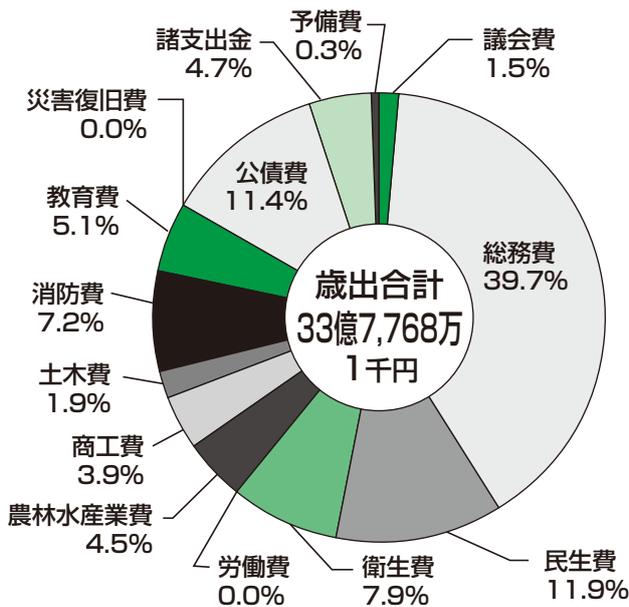


令和6年度予算

令和6年度 一般会計予算状況 (単位：千円、%)

【歳入】

科 目	予 算 額	比 率	前年度予算額	予算の比較
1 村 税	123,503	3.7	119,806	3,697
2 地 方 譲 与 税	13,039	0.4	13,563	△ 524
3 利 子 割 交 付 金	46	0.0	71	△ 25
4 配 当 割 交 付 金	268	0.0	322	△ 54
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	180	0.0	300	△ 120
6 地 方 消 費 税 交 付 金	39,805	1.2	42,164	△ 2,359
7 環 境 性 能 割 交 付 金	814	0.0	797	17
8 法 人 事 業 税 交 付 金	1,544	0.0	874	670
9 地 方 特 例 交 付 金	347	0.0	291	56
10 地 方 交 付 税	1,310,000	38.8	1,285,000	25,000
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0	1	0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	1,355	0.0	1,379	△ 24
13 使 用 料 及 び 手 数 料	54,309	1.6	54,762	△ 453
14 国 庫 支 出 金	122,234	3.7	68,596	53,638
15 県 支 出 金	252,646	7.5	263,328	△ 10,682
16 財 産 収 入	6,960	0.2	6,975	△ 15
17 寄 附 金	10,002	0.3	10,002	0
18 繰 入 金	528,353	15.6	583,803	△ 55,450
19 繰 越 金	10,000	0.3	10,000	0
20 諸 収 入	154,975	4.6	63,533	91,442
21 村 債	747,300	22.1	190,400	556,900
歳 入 合 計	3,377,681	100.0	2,715,967	661,714



【歳出】

科 目	予 算 額	比 率	前年度予算額	予算の比較
1 議 会 費	51,131	1.5	50,576	555
2 総 務 費	1,340,504	39.7	634,548	705,956
3 民 生 費	402,728	11.9	395,106	7,622
4 衛 生 費	267,389	7.9	398,858	△ 131,469
5 労 働 費	2	0.0	2	0
6 農 林 水 産 業 費	153,266	4.5	134,679	18,587
7 商 工 費	130,516	3.9	84,488	46,028
8 土 木 費	63,068	1.9	99,401	△ 36,333
9 消 防 費	244,827	7.2	249,569	△ 4,742
10 教 育 費	173,057	5.1	161,387	11,670
11 災 害 復 旧 費	5	0.0	5	0
12 公 債 費	384,635	11.4	353,399	31,236
13 諸 支 出 金	157,501	4.7	145,888	11,613
14 予 備 費	9,052	0.3	8,061	991
歳 出 合 計	3,377,681	100.0	2,715,967	661,714

役場及び消防庁舎建設に係る特別委員会

2月20日開催

(欠席委員なし)



杉山 太 委員長

○庁舎等整備事業に係る入札及び契約について

(1)役場庁舎等整備事業 工損調査業務委託
落札者 株式会社
みちのく計画(青森市)
委託料 291万5千円

※工損調査とは、工事の施工前後に写真撮影や測定器を用いて、工事前に損傷の有無や程度を記録し、工事後にそれと比較することで行われる。

○「庁舎等整備事業の進捗状況(令和6年1月末現在)について」及び「庁舎等整備事業に係る用地取得及び立木補償契約について」

(1)役場庁舎等建設実施設計業務委託

建築 図面90%(一般図面完成他)・積算40%(車庫2棟が最終調整他)

構造 図面90%(構造計算書との整合性など調整)・構造計算書70%(基本的計算完了)電気 図面80%(発電機、別途工事との調整他)・積算10%(概算まで本積算開始)

機械 図面60%(詳細図作成中他)・積算10%(概算まで本積算開始)

(2)消防庁舎建設実施設計業務委託

建築 図面80%(一般図面完成他)・積算30%(参考見積徴取まで本積算開始)

構造 図面80%(構造計算書との整合性など調整)・構造計算書75%(基本的計算完了)電気 図面70%(発電機、別途工事との調整他)・積算20%(参考見積徴取まで、本積算開始)

機械 図面60%(詳細図作成中他)・積算10%(参考見積徴取まで、本積算開始)

(3)役場庁舎等整備事業 地質調査業務委託

用地内6ヶ所の地質調査終了及び用地周辺の地質調査1ヶ所を追加で実施。

(4)役場庁舎等整備事業 開発許可申請書作成委託
令和5年12月20日に県へ開発許可申請書提出

出済み

(5)役場庁舎等整備事業 用地取得及び立木補償

土地の所有権移転登記は地権者(全員同意済み)12人分を3月中に行う予定、立木補償も行う。

問 立木の伐採はどのように行い、伐採された木はどうするのか。

答 村が伐採する。伐採した木は、所有者のものとなるが、必要な場合は、村が処分する。

問 地質調査1ヶ所の追加は何のためか。

答 近隣民家の方から要望された防風フェンスの設置が可能かどうかの調査。

○庁舎等整備事業造成設計について

令和6年度の春、敷地内の造成工事を発注予定。南側は切土し、北側は盛土造成を行う。

う。切土した土を盛土に利用するが、処理しきれない残土は用地外へ搬出する。敷地内の道路の整備は令和7年度に計画している。令和6年度施行の概算工事費については、景観、防風対策工法の変更、資材単価、人件費のアップ等により増額を想定している。

問 残土の置く場所等は。

答 根戸内地区の耕作放棄地の計画で進めている。詳細は工事発注後、協議することとなる。精査した結果、現在、残土は12,000立米を想定。

問 防災倉庫裏側の盛土を行う箇所の擁壁の高さはどれ位になるのか。

答 現在、最終的な設計をまとめている段階であり、盛土を行う箇所は、張芝を予定している。支障があるよう

であれば計画変更も考慮するが、安全対策に配慮し進めていく。

○役場庁舎等建設実施設計について

車庫兼書庫、車庫兼防災備蓄倉庫は高額である大きな柱を減らすなど事業費の圧縮を行っている。将来に備え、電気自動車用コンセントを設置する。

問 村民ホールに薪ストーブを設置するが、薪の管理は誰が行うのか。

答 薪の管理、準備等は、極端に職員に負担を掛けない方法を考慮しながら協議する。メンテナンスは年1回程度なので、業者委託を予定。

○消防庁舎建設実施設計について

備品、器具の変更や防災倉庫の床面積の縮小などで事業費を圧縮

する。

○役場庁舎・消防庁舎
建設概算事業費及び
令和6年度当初予算
について

概算総事業費 36
億1,501万2,0
00円。変更計画前と
比べて3億623万5
千円の増額となるが、
充当出来る財源が増え
一般財源は7,904
万3千円の減額とな
る。

令和6年度について
は、当初予算計上予定
額は8億5,686万
5千円。

○事業費が増えたこ
とについて、住民説明
会を開催していただき
たい。

○事業費は増えた
が、充当財源が増え、
一般財源が減ったた
め、住民は直接的に不
利にならない。住民説
明会ではなく、広報誌
等を活用し説明する。

○財政シミュレー
ションは人口減も見込
んでいるのか。

○見込んでいます。

○役場庁舎及び消防庁
舎建設等に係る事業
計画スケジュールに
ついて

土木工事は令和6年
5月、役場庁舎等建設
工事、消防庁舎建設工
事は令和6年10月と予
定より1ヶ月早く着手
する計画。

○事業認定に係る説
明会の開催は。

○事業認定の許可が
なくても地権者は税の
優遇が受けられるの
で、説明会は行わない。

最後に現場視察の要
望があり、議会と行政
で調整し、可能であれ
ば開催することとなっ
た。

全員協議会

2月21日開催

(欠席議員なし)

協議案件

1. 下風呂温泉「海峡
の湯」の収支状況
について

下風呂温泉「海峡の
湯」の令和6年度一般
会計予算の概要及び収
支計画を説明。



能登 勝彦 議長



海 峡 の 湯

委員会報告

○下風呂温泉の収支状況

(単位：円)

	R5 当初予算	R5 決算見込	R6 当初予算
歳入	28,324,000	24,174,347	28,324,000
歳出	32,407,000	31,580,423	32,895,000
収支	▲ 4,083,000	▲ 7,406,076	▲ 4,571,000

○下風呂温泉の入浴者数、営業日数

(単位：人)

年度	令和3年	令和4年①	令和5年②	②-①
村内入浴者数	40,195	42,038	43,307	1,269
村外入浴者数	29,969	34,534	38,593	4,059
計	70,164	76,572	81,900	5,328
営業日数	311	333	338	5

問 もう少し長いスパ
ンで修理できるような
対策を取っていたら
き、簡単にメンテナ
ンスができるような、状
況設定をしていかなけ
ればいけない。

答 周辺の旅館ホテル
の皆様、恐山の宿泊施
設等の状況も聞きなが
ら対策していく。

2. 桑畑温泉「湯ん湯ん」の収支状況

桑畑温泉「湯ん湯ん」の令和6年度一般会計予算の概要及び収支計画を説明。

『海峽の湯、湯ん湯ん』については、令和6年度中に総務常任委員会を開催し、検討する。』



○桑畑温泉の収支状況

(単位：円)

	R5 当初予算	R5 決算見込	R6 当初予算
歳入	18,944,000	12,702,028	18,944,000
歳出	35,175,000	32,613,951	35,777,000
収支	▲16,231,000	▲19,911,923	▲16,833,000

○桑畑温泉の入浴者数、営業日数

(単位：人)

年度	令和3年	令和4年①	令和5年②	②-①
村内入浴者数	8,086	8,444	9,247	803
村外入浴者数	18,396	17,126	19,452	2,326
計	26,482	25,570	28,699	3,129
営業日数	287	270	310	40

3. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

(1)省エネ家電等購入促進事業補助金(総事業費300万円)

省エネルギー性能の高いエアコン等を購入、設置した際の費用の一部を補助し、温室効果ガスの排出量の削減及び熱中症予防対策の推進並びに村民の負担軽減を図る。

対象経費の2分の1を補助。但し、上限額は3万円又は5万円。

(2)村民支援商品券配布事業(総事業費962万9千円)

エネルギー及び食料品価格等の物価高騰の影響を受けている村民(全村民)に対して1人あたり5千円の商品券を配布し、生活支援を行うほか、地域経済の更なる回復を図る。

(3)住民税均等割課税世帯物価高騰対策

支援給付金給付事業(総事業費1,270万2千円)

物価高騰対策として低所得世帯支援枠を追加し、住民税均等割課税世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付することで低所得世帯に対しての支援を行う。

基準日：令和5年12月1日
(4)低所得世帯臨時特別給付金給付事業(総事業費370万5千円)

物価高騰対策として低所得世帯支援枠を追加し、住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付することで低所得世帯に対しての支援を行う。

(5)低所得世帯臨時特別給付金給付事業(子ども加算分)

物価高騰対策として低所得世帯支援枠を追加し、住民税非課税世帯及び均等割課税世帯への給付への加算として世帯に扶養されている18歳以下の児童1人あたり5万円を支給し、低所得者の支援を行う。

問 省エネ家電の購入促進事業補助金は、令和6年のみか。

答 来年度以降、また、今回についても予算で、まかないきれない多くの希望者があつた場合は、その都度考

問 上限の3万円と5万円の差は。

答 経済産業省の最新の省エネ基準に基づく統一省ラベル、三ツ星が3以上のものについては、高性能ということで5万円、それ以下のものについては3万円。

問 (3)と(4)の給付時期は。

答 (3)は5月下旬までを、(4)は6

を目途に計画、(4)は6

7月以降。

4. 風間浦保育所指定管理委託料について

令和5年度風間浦保育所決算見込みを説明。人件費、電気料金、バス燃料費などにより、不足額が生じることから3月定例会において一般会計補正予算285万円を計上する。

令和6年度予算見込額は5,700万円。

5. 風間浦村第9期介護保険料について

保険料改定により令和6年度から基準月額が7,100円(現在は6,950円)となる。世帯非課税者は、月額2,024円〜4,864円の軽減措置がある。

6. ふのり記念公園トイレ改修について

蛇浦地区にある「ふのり記念公園トイレ」の改修事業について説

明。女子トイレを解体し、男子トイレに集約する。多目的トイレやベビーチェアの設置を行う。パネルヒーターを設置し、冬期間の利用を可能とする。工期は5ヶ月間、令和6年度予算へ工事請負費4,350万円等を計上。

7. 特定空家等除却事業補助金について

条件が該当する村内に存する特定空家等の除却に最大50万円の補助金を交付する。令和6年度当初予算計上額150万円(3戸分)。

問 建物所有者の住所が村外の方でも対象になるのか。

答 対象となる。

問 解体することによって固定資産税はどうなるのか。

答 令和6年1月1日以降に老朽空家を

解体したものに、固定資産税の減免措置が適用される。現在協議中。
問 予算措置した以上の申込があった場合の対応は。
答 補正予算または翌年度以降での対応。



ふのり記念公園トイレ

議会運営委員会

2月22日開催

(欠席委員なし)



中嶋 茂 委員長

令和6年第1回3月定例会の運営に関する事項について審議。

☆定例会

提出となる案件等を勘案した結果、会期は、5日から11日までの7日間。

一般質問は、通告期限までに3名の通告があり全て受理。

議事日程は、開会初日は議案等の付託、議案等の審議及び一般質問等を行い散会。6日及び8日に予算

☆議会運営に係る課題の検討、協議事項

令和6年度内の総務常任委員会において、海峽の湯及び湯ん湯んの料金、営業時間等について協議を行う。

☆諮問

受理された陳情について審議した結果、今後の動向を注視し、資料配付とした。

陳情名「年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情」、「中小企業支援策の拡充による最低賃金の改善を求める意見書」。

☆議案等の審議

新年度予算案、報告事項、人事案件及び損害賠償の和解を除く議案を、総務常任委員会に付託し審査。

☆人事案件の表決方法

無記名投票及び一括起立採決。



予算審査特別委員会

3月6日開催

(欠席委員なし)



杉山 太 委員長

3月定例会において、予算審査特別委員会を設置し、3月6日に審査を行いました。予算の概要は、4ページから5ページに掲載しております。

委員からの主な質疑

○一般会計予算

問 小水力発電導入調査等業務のこれまでの調査内容やポテンシャルについては。

答 地質調査、流量調査を行ってきたが、今後、概ね1年間のデータを取ってから事業性評価を行う。

問 児童手当の対象人数等は。

答 現在72人を予定しているが、国の動向により対象年齢、人数が変わる可能性がある。

問 ゴミ袋購入費の減額理由と値上げの予定は。

答 減額理由は、在庫があるため新規の発注が少なく済むこと、値上げについては、今後、検討するが、現時点での予定はない。

問 未来へ繋ぐ海のプロジェクト事業補助金での稚ナマコの放流の内容は。

答 計12万匹程度を放流する実証実験を行う、数年かけて増えていくことが期待される。

問 ふのり記念公園トイレの除雪方法は。

答 業者委託等で対応となる見込み。

問 特定空き家除却補助金の内容は。

答 一戸当たり上限50万円で、特別措置法に基づいた特定空き家を除却するものであり、今後も財政状況を考慮しながら続けていく。

問 中学生の職場体験事業の内容は。

答 中学1、2年生が函館市で行う、生きる力をつける教育活動である。

○国民健康保険特別会計

問 出産育児一時金の想定者数は。

答 2名。

○介護保険特別会計

問 居宅介護住宅改修給付費の自己負担割合は。

答 1割負担であるが、対象となる住宅改修総額の上限が20万円であり、それを超える分は全額自己負担になる。

○簡易水道事業会計

問 水道管整備工事請負費300万円の内容は。

答 突発的に起きた漏水等の修繕にかかる工事費。

★採決結果等

審査の結果、全議案、全会一致で原案のとおり可決とし、1日繰り上げて閉会とした。

総務常任委員会

3月7日開催

(欠席委員なし)



金森 一規 委員長

令和6年第1回定例会で本委員会に付託された議案11件について、担当課から説明を受け審査を行った。

【付託された議案】

- ① 専決処分の承認を求めることについて
- ② 風間浦村簡易水道事業の設置等に関する条例について
- ③ 風間浦村簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例について
- ④ 風間浦村手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- ⑤ 風間浦村乳幼児及び児童生徒医療費給付条例の一部を改正する条例について
- ⑥ 風間浦村漁港管理条例の一部を改正する条例について
- ⑦ 風間浦村宮住宅管理条例の一部を改正する条例について

⑧ 風間浦村介護保険条例の一部を改正する
条例について

⑨ 令和5年度風間浦村一般会計予算を補正
することについて

⑩ 令和5年度風間浦村介護保険特別会計予
算を補正することについて

⑪ 令和5年度風間浦村後期高齢者医療特別
会計予算を補正することについて

議 案 審 査

○ 風間浦村営住宅管理
条例の一部を改正す
る条例について

収入超過者について
の質疑があり、収入超
過者となった方へは、
明け渡して頂くよう努
力する義務が発生する
旨の通知を送付する
との答弁。

また、委員からは、
入居の際に収入超過と
なった場合の説明を行
えばよいとの提案も
あった。

※その他の議案につい
ては、特段の質疑はあ
りませんでした。

審 査 の 結 果

付託された全11議案
は、全会一致で可決さ
れた。



大間原子力発電所対策特別委員会

3月7日開催

(欠席委員なし)



北館 智明 委員長

電源開発(株)から

電源開発(株)大間原子
力建設所より、藤田
本部長他6名が出席
し、「能登半島地震に
ついて」、「新規制基準
適合性審査の対応状況
について」、「大間原子
力発電所建設工事計画
2024年度工事の概
要について」及び「建
設・運転差止等請求訴
訟の審理状況につい
て」並びに「その他」
の説明及び報告。

○能登半島地震につい

て
下北半島は海域に連
続した断層が認められ
ないため、能登半島で
起きたような大きな地
盤の隆起は生じない見
解との説明。

○新規制基準適合性審

査の対応状況につい
て
今回の審査会合で
は、第一段階として二
箇所の調査結果から
シームや周辺岩盤の差
別化に用いる指標の候
補について説明し、第
二段階の審議に進むこ
とになった。

○大間原子力発電所建

設工事計画2024
年度工事の概要につ
いて
当村で24年度着工、
25年度完成予定で5棟
の社宅新築工事を行う
との報告があった。

○建設・運転差止等請

求訴訟の審理状況に
ついて
住民の訴訟は、第11
回口頭弁論期日が3月
12日、函館市の訴訟は
2月26日に第31回口頭
弁論期日が開催され、
原告が準備書面等を提
出。被告国及び被告会
社は準備書面を提出し
なかった。

○その他

蛇浦地区の業者仮宿
舎の拡張・整備につい
ては、追加用地の手配
に向け、今月までの工
期で用地測量を実施
し、内容を精査する。
社宅整備は、設計業
務が完了し、現在、工
事発注に向けて準備し
ている。
今後準備が整った

○質疑答弁

委員から社宅新築工
事の際は、地元への地
域貢献をお願いする
旨、発言があり、会社
側からは、地域貢献が
出来るよう元請け会社
にお願いするとの回
答。

行政側から

国や県に対し防災避
難道路の整備促進等を
要望した旨を報告。

○その他要望

委員からオフサイト
センターの設置場所に
ついて、3ヶ町村協議
会での協議の要望が
あった。

委員会報告

村政を問う！ 一般質問

一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においては、一般質問者の持ち時間は1時間に制限されています。

今期定例会では、3名の議員が登壇しました。



金森 一規 議員

1. 生産者がここで暮らし、生きていくための漁業について
2. あわび増殖センター（現：種苗供給施設）の活用について

A

村長

「村長が描く今後の我が村の漁業とは」については、回復しつつある磯根漁業の継承および回遊魚を対象とした漁船漁業、ナマコ放流事業、ウニの畜養事業やサーモン養殖事業などのつくり育てる漁業への転換。また、現在、漁獲量が安定している鮫鱈の資源適正管理など、持続可能な漁業へのシフトを考えている。漁業協同組合において、関連機関と連携を進め、漁業経営の方向性などを検討していただき、村としても、将来を見据えた協議を続ける。

Q

ウニの適正管理事業での藻場再生は、どのような効果が見られ、これからの漁業につながっていくのか。生産者がここで暮らし、生きていく漁業が出来ることを望むが、村長が描く我が村の漁業とは。

A

村長

昭和56年度にあわび増殖センターが完成、年平均約10万個から15万個のあわび稚貝を放流していたが、経費に対するあわびの漁獲額が少なく、平成22年度で稚貝の種苗生産・放流を終了している。現在は、各漁協へ供給するためのコンブやワカメの種系生産、稚ナマコの中間育成、ナマコの一時的な保管などを行っている。また、鮫鱈の調査・研究を行っている大学生等が来村し、施設を活用している。今後も水産系の大学や研究機関と連携しながら、村の水産業の課題解決に努めていく。施設は、設備等が老朽化しており、大規模改修には億単位のコストが想定される。活用方法については、今後も検討していく。

Q

村長が求める「持続可能な水産業の育成」のためには、あわび増殖センターの再興が有効な手段と考えられる。村では、この施設をどのように活用していくのか。



種苗施設（あわび増殖センター）



山本 聡 議員

漁業振興対策について

A

村長

稚ナマコの放流事業は、令和2年度から実施しており、栽培、育てる漁業として当村に適しているかを検証するための事業。放流先ごと、年度ごとの育成状況は、潜水による追跡調査を実施しており、放流後1〜2か月後の調査を基に生存率を推計することはできるが、その後、稚ナマコが移動していることもあり、生存率、成長率について数値として確定できていない。一部の稚ナマコは、種苗供給施設内で中間育成を実施しており、その条件下での成長率は、購入後、半年で大きさ約10mmの成長であった。

Q

「稚ナマコ」の育成状況、風間浦ナマコのブランド化、アワビセンターの活用等については。

A

村長

易国間支所で実施している桑畑漁港内での畜養事業は、収益もあり、組合事業として成功している。下風呂本所や蛇浦支所でも、可能であれば自主事業として実施し、組合運営資金の確保につなげていきたい。事業に取り組むには、放流先の確保、空ウニの採取・放流・給餌など労力と賃金が伴うので、まずは本所及び支所で実施へ向けた計画書策定を検討し、村へ要望があれば具体的な協議をしていく。

Q

ウニの移植事業は、どの程度の支援策なのか。

A

村長

磯場への通路の確保は、まずは漁協において漁業者からの意見・要望などを集約したうえで、具体的な場所、手法などを含め行政に提示いただきたい。漁業者が高齢化する中、磯場の安全対策は必要である。

Q

安全対策のため磯に道をつくることできないか。磯に降りる場所などの整備をし「高齢者に優しい磯づくり」を実現させるための施策の展開は。

A

村長

個体にかんがりのバラツキもあるが、見た目では確実に成長が見てとれる状況。また、ナマコの価格は青森県内の令和4年調査で、キロ当たりの平均価格の最高額が4,758円、最低額が870円で、風間浦村は1,900円。令和5年は、中国などがナマコ等を買収控えた要因もあり価格が下がっている。風間浦村産のナマコに、付加価値を付けブランド化を目指すことについては、品質や漁獲量など他地区と比べて突出した要素がないことから厳しいため、ブランド化ではなく、販売ルートの検証や出荷のタイミンングなどにより、より高い価格で出荷できる方策を検討する。アワビについては、事業として費用対効果が見込めないことから、現時点において稚貝放流事業に再度チャレンジすることは考えていない。



越膳 喜好 議員

1. 進行する人口減少に対し、今までの対策と今後の対策について
2. 風間浦村のホームページのリニューアルについて

A

村長

確かにこの10年で人口は減少しています。この間、子育て支援対策として、保育料無償化、高校生までの医療費無料化、定住対策として定住奨励金などの助成、空き家バンクの創設などを展開してきましたが、人口減少には歯止めが掛かっていない状況です。その要因として、働く場がない、住む家がないなど他市町村と比べ特化した魅力不足等により、村内に定住せず、他市町村に転出したと思われまます。今後においては、本村の特色である水産業・観光業に特化した施策を実施し、移住に係る住居の確保、子育て支援等々を実施していきたい。まず今年度は、風間浦村の魅力発信を課題に動画配信や村のPRの素材の収集に複数年をかけて様々な関係機関と連携し、自分たちでは見えない村の魅力を探し、その対策に取り組む体制を整備したい。



Q

風間浦の人口は、2014年〜2023年の10年間で538人減少しています。また2050年に756人まで減少するとの新聞報道がありました。この10年間の人口減少を止めるために、どのような対策をとってきたのか、また今後どのような対策をとっていくのか。

A

村長

これまでの自治体のホームページは、住民向けの情報提供がメインであったが、今の時代は全国向けの情報発信であり、ネットをどのように活用していくかにシフトしていかねばならないと感じています。庁内において検討してリニューアルなり利活用なりを積極的に進めていきたいと考えています。

Q

村のホームページを観ると更新が遅れているものや、まったく更新されていないものがあり、積極的に村をアピールする内容が乏しいように思える。風間浦村はこんなに素晴らしい処だ、ぜひ一度訪れてみたい、あるいは住んでみたいと思わせるようなアピール力の強いホームページの構築が必要だと思いますがいかがでしょうか、またこれらの内容により、先ほどの人口減少対策の可能性の一つであると思う。

A

村長 諦めることなく、可能性のあるものにはチャレンジしていきたい。

Q

人口減少を止める特効薬はないと思います。ですから人口減少を止める可能性のある対策を数多く試みていくことが大事なことだと思います。そしてこの対策は、長期的な展望に立ち、都度進捗状況を検証し、追加・修正をしていくことが大事だと思います。



開催の様子（桑畑地区）



議長挨拶（易国間地区）

<主な意見>

・風間浦バイパス、出来るのは何年後か。

A：避難路にもなるので、原発完成まで出来ないと困る、災害対策にも必要なもので、大間原発三ヶ町村協議会でも要望していく。

・湯ん湯んは、開始時間を早くするか、終了時間を遅くすれば、まだまだ入る。

A：営業時間については、検討するという意見が出た。結論は出てない。

※下風呂・桑畑温泉については、6年度中に総務常任委員会で協議することとなっている。

・風車が多く建って、山が荒らされてる。

A：まずは勉強会を開催し、その後、皆さんの声を聞きながら対応する。

風間浦村議会懇談会

12月18日～21日

風間浦村議会懇談会を12月18日（月）から21日（木）までの4日間、村内4地区で開催しました。懇談会では、参加者から温泉の管理、災害時の避難体制、風力発電事業、農業委員会などについての様々な課題を伺うことが出来ました。今後の議会活動につなげていきたいと考えております。

〈議会懇談会開催状況〉

- 12月18日（月）
下風呂公民館 参加 2名
- 12月19日（火）
桑畑公民館 参加 5名
- 12月20日（水）
中央公民館 参加 6名
- 12月21日（木）
蛇浦公民館 参加 2名



経済産業省での要望活動

大間原発三ヶ町村協議会要望活動

2月1日

2月1日（木）、東京都内において大間原発三ヶ町村協議会での要望活動を行いました。
要望書提出先は、国土交通省、経済産業省、県選出国会議員で「国道279号の防災機能強化を図るためのバイパス整備に向けた国の支援」等について要望しました。



風間浦小学校卒業式



風間浦中学校卒業式



令和6年3月12日（火）風間浦中学校で、令和6年3月16日（土）風間浦小学校で卒業式が行われました。卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。今後の成長と益々のご活躍をお祈り申し上げます。光ある未来のため、夢に向かって努力し、歩んでください。また、大切な節目を迎えられました保護者の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

（文・北館智明）

ちよつと一言
編集後記



編 集 後 記



議会広報編集委員会
 委員長 越膳 喜好
 副委員長 山本 聡
 委員 中嶋 茂
 " " 北館 智明
 蛸島 巨

春の来ない冬はない。
 待望の春です、満喫しましょう。外に出て太陽の光を浴びて春を感じましょう。書を捨てよ、街へ出よう。
 （文責・蛸島巨）